

各区総会(班長会)等の日程

3月の日程			
3日	6区総会	18:00	東会館
4日	三役会	10:00	東会館
4日	13区役員会	19:00	東会館
6日	12区班長会	18:00	東会館
7日	25区総会	18:00	東会館
8日	7区総会	10:00	東会館
8日	6区総会	13:00	東会館
8日	26区総会	13:00	東会館
8日	22区総会	16:00	東会館
未定	会計監査	10:00	東会館
11日	9区役員会	10:00	東会館
11日	役員会	19:00	東会館
14日	2区総会	16:00	東会館
14日	16区総会	11:00	東会館
14日	11区総会	19:00	東会館
15日	21区総会	10:00	東会館
15日	5区総会	10:00	東会館
15日	18区総会	13:30	北白石地区C
17日	9区総会	19:00	東会館
18日	区長会議	19:00	東会館
19日	14区役員会	19:00	東会館
22日	24区総会	10:00	東会館
22日	3区総会	13:00	北白石地区C
27日	広報153号		東会館
29日	27区総会	10:00	東会館
29日	20区総会	18:00	東会館
4月の日程			
未定	三役会	10:00	東会館
19日	第68回総会	14:00	東会館
26日	春の大掃除	10:00	

新型コロナウイルスは手強い！

感染拡大防止のために私たちの出来る事



町内会は新春企画「落語と歌」を急遽中止しました

町内会は2月21日、三役部長及び実行委員の緊急合同会議を開催し、新型コロナウイルスの感染者が札幌市でも発生している状況下で、23日予定しているイベント「落語と歌」開催の適否を慎重に検討した結果、「中止」する事に決定いたしました。

会議では、①参加者が不特定多数であること、②参加者が高齢者中心であること、③会場が室内で、参加者同士の距離を確保出来ないことなどの意見が出され、万一の感染リスクを防止できないと判断したものです。

前売り代金の返金は3月10日まで

中止に伴い購入された「前売り券」の代金は、返金することになります。「返金」は3月10日まで町内会事務所で、「前売り券」と引き替えに返金します。また、実行委員及び町内会役員から購入された方は、連絡を取って対応することになります。



上) 難しい判断を下した緊急会議の委員



右: チケット返金の様子

中止となった「落語と歌」企画の当日は、事前の連絡が浸透したことと暴風雪警報が出る荒れた天候もあって、知らずに来館された方は少なく、大きな混乱はありませんでした。緊急の「中止」で、楽しみにされていた会員の皆様にはお詫び申し上げますとともに、ご理解を賜った企画関係者に感謝申し上げます。

2020年
2月28日
第152号

ネット検索
キーワードは『北郷東町
内会』です

発行責任者
鼻野木辰則
編集責任者
佐藤静男

東会館の利用上のお願い

(新型コロナウイルス感染防止対策として)

- ①入館時に備え付けの「消毒液」で、手・指の消毒をお願いします。又はトイレで手洗いをお願いします。
- ②可能な限り「マスク」の着用をお願いします。

【帰国者・接触者相談センター】

◆札幌市保健所

(救急安心センターさっぽろ【受診相談】)

011-272-7119 (#7119)

開設時間 24時間

新型コロナウイルス感染症の感染が疑われる方については「帰国者・接触者相談センター」を設置していますので、こちらにご相談ください。

手洗いが最強の感染防御



転載

新型コロナウイルス対策に関するお願い
東大教養学部部長(総合文化研究科長) 太田邦史

新型コロナウイルスに関する解説で、マスコミの断片的で繰り返しの多い報道より、はるかに新型コロナウイルスの要点を簡潔にまとめるとあると思いましたが、HPから要旨を転載しました。(広報部)

【現状の認識】

国内で感染源が不明な事例がいくつか出て来ましたが、この段階に入りますと、水際で感染症が国内に侵入・拡散するのを排除することは不可能になります。

新興病原体に対する有効な防御法には、①検査、②公衆衛生的な管理、③迅速な診断法、④ワクチン、⑤治療法・治療薬、⑥各人の免疫システムの6つの「盾」が考えられます。今の日本では①の盾が破られ、③⑥の盾はまだ有効に機能しないか、存在していない状況です。従いまして、いざれ多くの方が新型コロナウイルスに感染することを前提として、行動することが必要になってきました。

【ウイルスの特徴と症状】

今回感染拡大が起きているCOVID-19は、普通の風邪の原因となるコロナウイルスの仲間です。一本鎖RNAを持つウイルスです。また、このウイルスの迅速な検出法は存在しておらず、RNAをDNAに逆転写した後、PCRという方法で定量的に分析するという手間と時間の掛かる方法でないと検出できません。以下、感染者の状況をj知る臨床医の方からの情報を記します。

幸い感染者の多くは症状が軽く、普通の風邪のような症状があるだけのようです。特徴としては、通常の風邪は2〜3日で回復するのに対し、1週間ぐらい熱が下がらず、倦怠感と息苦しさが出てくるというのだそうです。体のむくみや、下痢がある人もいるようです(一部には発熱もしない無症状の感染者もいるようです)。60歳以上の高齢者や、糖尿病や高血圧、呼吸器疾患などの基礎疾患のある人(以下「高リスク者」)で、この経過を経ることが多いそうです。しかし、健康な若者にも一部このような症状が見られることがあります。感染後に発症するまでの潜伏期は、平均で5日(二日)程度のようです。なお、ウイルスの感染力がもっとも強いのは発症から3〜4日目頃と考えられています。発症後、1週間ほどで解熱して回復する人もいます。一方で、先ほど述べた高リスク者の一部では、発症から10日ぐらい経過した後に入院を要するほど呼吸器症状が重症化する症例が見られます。高リスク者である基礎疾患保有者、高齢者、要介護者、入院患者では重症化の確率が高くなります。したがって、今後はリスクに応じて対応法を変えることが重要です。(裏面に続く)